

Abdel Rahman El Bacha

Piano Recital

©Chloe Kritharas

アブデル・ラーマン
エル＝バシヤ
ピアノ・リサイタル

魂を映し出す、唯一無二のピアノニズム
静謐なる美と叙情、そして情熱
——
巨匠が紡ぐ、音楽を超えた対話

PROGRAM

J.S.バッハ
ゴルトベルク変奏曲
BWV988

Johann Sebastian Bach: Goldberg Variations,
BWV988

モーツァルト
ピアノ・ソナタ第14番
ハ短調 K.457

Wolfgang Amadeus Mozart: Piano Sonata No.14
in C Minor, K.457

ベートーヴェン
ピアノ・ソナタ第21番
「ワルトシュタイン」
ハ長調 Op.53

Ludwig van Beethoven: Piano Sonata No.21
in C Major, Op.53, "Waldstein"

2025

10/15 水 開演19:00
(開場18:30)

● 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

[全席指定(税込)] 一般 ¥6,000 U30 ¥2,000

チケット一般発売 | 5/31(土)10:00~

[主催] 朝日新聞社 / 浜離宮朝日ホール [特別協賛] 竹中工務店

お問合せ 朝日ホール・チケットセンター
03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

魂を映し出す、唯一無二のピアノズム

個性的でありながらも深い精神性を湛え、聴く者の魂に触れるピアノズムで魅了する巨匠、アブデル・ラーマン・エル＝バシャが、バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンという偉大な作曲家たちの音楽の核心へと迫ります。精緻な対位法に裏打ちされた静謐で美しいバッハの響き、モーツァルトの劇的な叙情、そしてベートーヴェンの革新と情熱が交錯する——充実したコンサートになることは間違いありません。レバノン共和国のベイルートに生まれた彼は、1978年、わずか19歳でエリザベート王妃国際音楽コンクールにおいて優勝したことで、その名を一躍世界に

轟かせました。それから、45年以上の時を経た“いま”、エル＝バシャはどのような世界を私たちに魅せてくれるのでしょうか。

「私は常に理想を追求しています。どのコンサートにおいても、自分自身の魂と、聴衆の魂を魅了することを目指しているのです」(過去のインタビュー記事より)。深淵なる音楽性と卓越したテクニックで作曲家の魂と対話し、自身と聴衆が共鳴する瞬間を生み出す。巨匠の指が導く、エスプリが光る円熟の音世界を、心ゆくまでお楽しみください。

Abdel Rahman El Bacha, Piano

アブデル・ラーマン・エル＝バシャ [ピアノ]

ベイルート(レバノン)の音楽一家に生まれる。1967年よりピアノをツヴァルト・サルキシアンに師事し、弱冠10歳でオーケストラと初共演を果たす。1973年、クラウディオ・アラウに将来を嘱望され、その翌年にフランス、ソ連、イギリスの奨学金によりパリ国立高等音楽院へ入学。ピエール・サンカンに師事し、ピアノ、室内楽、和声法、対位法の4科で首席となった。1978年、19歳の時にエリザベート王妃国際音楽コンクールにおいて審査員満場一致で優勝し、一躍世界の注目を浴びる。

これまでに、ザルツブルク・モーツァルテウム、パリ・シャンゼリゼ劇場、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ミュンヘン・ヘラクレスザールをはじめとする世界の主要ホールに登場し、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、グルベンキアン管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団、NHK交響楽団等のオーケストラと共演している。また近年は、サル・プレイエル、シテ・ドゥ・ラムジーク、プロヴァンス大劇場等に登場し、アメリカではシャーロット交響楽団やトレード交響楽団と共演、モントリオールや日本でも演奏している。フォルナーヌ・レーベルからリリースしたプロコフィエフの初期作品の録音でシャルル・クロ・アカデミー大賞を獲

得し、1983年の授賞式ではプロコフィエフ夫人から賞を手渡された。同レーベルからは、バッハやラヴェルの協奏曲のほか、シューマン、ラヴェル、シューベルト、ラマニノフの作品集をリリースしている。ショパンのピアノ曲を作曲年代順に全曲録音しており、ピアノとオーケストラのための作品はシュテファン・ザンデルリンク指揮ブルターニュ国立管弦楽団とレコーディングしている。また、オクタヴィア・レコードからラヴェルのピアノ・ソロ作品集、バッハの平均律クラヴィア曲集、シューベルトの即興曲集、グラナドスの『ゴイエスカス』を、ミラーレからプロコフィエフのピアノ・ソロ作品集とベートーヴェンのピアノ・ソナタ全集をリリース。近年はMClassicsからプロコフィエフのピアノ・ソナタ第6、7、8番、『J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲&イタリア協奏曲』をリリースしている。

作曲家としても活躍目覚ましく、自作曲はフランスの出版社Editions Delatourから出版され、自作のピアノ作品のアルバム『アラベスク』をミラーレからリリースしている。1998年フランス政府よりフランス芸術文化勲章シュヴァリエを授与され、2002年にはレバノン大統領より功労賞の最高位メダルを贈られた。2019年、ベルギーのルーヴェン・カトリック大学から名誉博士号を授与された。フランスとレバノンの2つの国籍を持つ。

©Nicolas Draps

チケット販売所

◎朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00) ◎朝日ホール・チケットセンター  <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>

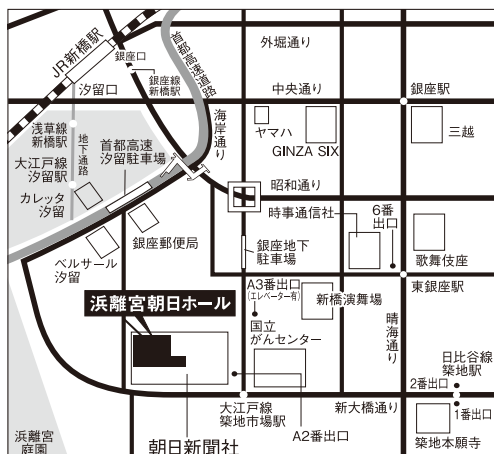
◎イープラス <https://eplus.jp/asahihall/> ◎チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ◎teket <https://teket.jp/9987/48058>

※第1部は途中入場が出来ません。余裕をもってご来場ください。

※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用くださいませ(要予約)。【託児のお申込み】イベント託児・マザーズ:0120-788-222

※U30の取り扱い朝日ホール・チケットセンター(電話・WEB)のみ。公演当日に満30歳以下である方が対象。入場口にてチケットと共に生年月日のわかる身分証(顔写真付き)をご提示ください。

※都合により公演内容が変更となる場合がございます。※公演延期・中止の場合を除き、チケット代金の払戻しはおこないませんので予めご了承ください。



浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞東京本社・新館2階 TEL.03-5541-8710

アクセス

- 「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ
- 「築地駅」東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分
- 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線
都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- 「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)
新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- 「新橋駅」JR(汐留口)
東京メトロ銀座線(1,2番出口)
都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

浜離宮朝日ホール公式



主催公演の最新情報を随時発信しますので、ぜひ「フォロー&いいね!」をお願いいたします!

浜離宮朝日ホール
@HamarikyuAH